

沼津市立病院広報誌

numa

capital

ぬまピタル

vol.22
Jul.2022

新体制となった沼津市立病院!!



伊藤浩嗣病院長就任のごあいさつ



この度、病院長に就任しました伊藤浩嗣と申します。

私は大学卒業後、1990年に埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センターに入局しました。「救急医はサブスペシャリティ（専門分野）を持つこと」との当時の

教授（現病院長 堤晴彦先生）の方針で、初期研修修了後は、東京女子医科大学で2年間、循環器内科を勉強しました。その後も循環器内科をさらに掘り下げて学びたいとの思いから、高度救命救急センターに籍を置きながら、1994年に北里大学循環器内科の和泉徹先生（現名誉教授）の元に入局し、大学院で勉強しました。大学院では博士号を取得し、関連病院での勤務を経て、高度救命救急センターで循環器疾患を中心に診療していましたが、和泉先生から沼津市立病院の循環器内科医長の退職に伴う後任として推薦され、2004年4月に当院の循環器内科に赴任しました。

同年、当院に関連大学から救急科専門医が派遣され、地域型3次救命救急センターを開設していま

す。その後、全国的な救急科専門医の不足を背景に、当院も救急科専門医が不在になってしまったため、2013年からは循環器内科と兼任して救命救急部長も務めています。

以前は、「医療は医師と看護師が行うもの」でしたが、現在の急性期医療の現場では、薬剤師・栄養士・リハビリスタッフ・臨床工学技士・臨床検査技師・メディカルソーシャルワーカー・医療専門の事務職員など、さまざまなスタッフがそれぞれの専門性を持って多層的に介入しなければ成り立たなくなっています。

そのため、当院では、スタッフの育成など良質な医療を提供していくために必要なことに取り組んでいくとともに、地域との連携を図ることで、地域の急性期医療を維持していきます。また、患者さんに寄り添い、地域のニーズに添えることを主旨とする基本理念「市民のために共に歩む病院」のもと、今後も安心安全な医療体制を維持し、地域における役割を果たしてまいります。



Message 副院長からみなさまへごあいさつ

姉崎 利治

副院長（兼 診療部長 兼 脳神経内科部長 兼 臨床研修センター長）



私は、静岡県東部（三島市）出身です。古い話になりますが、静岡県東部には、小野伸二さん（沼津市出身）、高原直泰さん（三島市出身）、川口能活さん（富士市出身）、内田篤人さん（函南町出身）など、サッカー日本代表となった優秀な選手がたくさんいますが、彼らは中学あるいは高校になると、静岡県中部の学校に進学してしまいました。初期臨床研修医も同様で、静岡県の奨学金制度を利用している多くの研修医は、中部・西部の病院で研修しており、東部の病院で研修している研修医は少ない状況です。

そのような状況を打開したく、私は「静岡県東部で人を育てたい」ということを目標に、優秀な専門医・指導医を増やし、多くの研修医を輩出する魅力ある病院になるよう努力していきます。また、「人材育成センター」の一員として、研修医のみならず、全ての職員のスキルアップに貢献できたらと思います。

菅本 祐司

副院長（兼 外科部長 兼 医療安全管理室長）

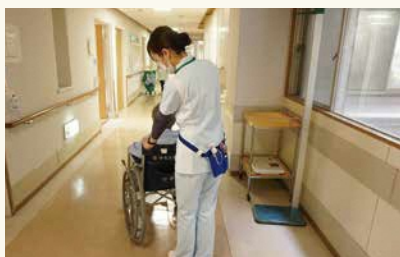


沼津市立病院の周辺には、当院を含め4つの基幹病院とがん・脳疾患・心疾患の各専門病院があり、地域住民の皆様にとっては恵まれた地域だと思います。その中で、当院は「市民のために共に歩む病院」を基本理念として、地域に密着した総合病院として運営されてきました。今年度からは病院管理者の一員として、病院全体の管理運営や地域医療の方策を、現在だけでなく将来にわたっても考えなければなりません。

当院は、明治2年に杉田玄端先生（杉田玄白の義理の孫）が沼津病院として設立された歴史のある病院です。先人達が100年以上の長きにわたって築いてきた地域の方々からの信頼を大切に、今後も皆様の期待に応えられるよう職員と力を合わせ、伊藤病院長を中心に病院職員全員が同じ方向を向いていけるように、副院長として努力していきます。皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

たくさんのありがとう！をいただき 医療現場で活躍しています。

看護補助者を紹介します。



看護補助者は、病院内において医療チームの一員として看護業務のサポートをする重要な役割を担っています。主には、患者さんの食事・入浴の補助や院内の移動・誘導など患者さんの介助を行う業務です。医療行為を行うことはできませんが、患者さんの一番近くで回復を見守り、支える存在といえます。



特別な資格は不要です。誰かの役に立ちたい、人と接することが好き、思やりのある優しい方など、この仕事に興味がある、看護補助者として働いてみたい、当院で実際に働いている看護補助者を見学してみたいなど、ご希望がありましたら看護部長室(055-924-5100)までお問い合わせください。

病院看護補助者の仕事説明&体験会の情報はこちら→



あなたにもできる！

当院は医師や看護師を支える人材を求めています。

看護補助者の声

私が心掛けていることの1つは、患者さんとのコミュニケーションです。コロナ禍で面会も制限されていますので、入院中の不安やストレスが少しでも緩和できたらと思っています。また、日頃から細やかな「気遣い」「気付き」「お声掛け」が出来るよう努めています。

さまざまな業務に対応するため体力も必要ですが、患者さんや病院のスタッフから感謝の言葉をかけられると大きな喜びを感じます。

子育てや介護をしながら働いている仲間がたくさんいます。とてもやりがいのある仕事です。

資格は
いらないよ



沼津市立病院

NUMAZU CITY HOSPITAL

— 市民のために 共に歩む病院 —

沼津市立病院広報誌「ぬまピタル vol.22」
発行：広報委員会・病院管理課企画係
ぬまピタルバックナンバーはこちら→



〒410-0302 沼津市東椎路字春ノ木 550 番地

Tel: 055-924-5100 (内線 2370)

Mail: byoin-so@city.numazu.lg.jp

ホームページアドレス: <https://www.numazu-hospital.shizuoka.jp/>